

**令和3年度 アクティブ チャイルド プログラム (JSP0-ACP) 講師講習会
開催要項【岡山県会場】**

1. 趣旨：

公益財団法人日本スポーツ協会（日本スポーツ少年団）が作成した、「JSP0-ACP」を各地域において指導・普及できる者を養成することを目的に、都道府県スポーツ少年団から推薦された者を対象とした講習会を開催する。

2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団

3. 協力：公益財団法人岡山県スポーツ協会岡山県スポーツ少年団

4. 後援：スポーツ庁（予定）

5. 期日・会場・定員：

期日：令和3年11月20日（土）・21日（日）

会場：就実大学

〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原1-6-1

定員：50名

6. 対象：都道府県スポーツ少年団から推薦された者（原則3名）

都道府県体育・スポーツ協会から推薦された者（原則1名）

日本スポーツ少年団から推薦された者（若干名）

7. 推薦条件：

(1) 推薦対象者は、2021年4月1日現在で満18歳以上の者で、以下講習会等の参加者とする。講師講習会受講時に以下の講習会等に参加済であることを条件とする。また、講師講習会受講申込時点で参加見込の者も含むものとする。

1) 幼児期からのアクティブ チャイルド プログラム普及講習会（平成27～令和元年度）

※上記講習会の運営に携わったスポーツ少年団リーダーを含む

2) アクティブ チャイルド プログラム (ACP) 研修会（令和2年度）

3) スポーツ少年団認定育成員研修会（平成23～30年度）

4) 幼児期からのアクティブ チャイルド プログラム都道府県普及促進研修会（平成29～令和2年度）

※受講申込時に開催期日・内容等がわかる資料や参加者名簿を添付すること

5) 公認スポーツ指導者資格「ジュニアスポーツ指導員」講習会受講修了者（平成30～令和2年度）

6) その他(アクティブ チャイルド プログラム普及・啓発プロジェクト班員が担当した講習や、アクティブ チャイルド プログラム研修会に準ずる講習会等)

※受講申込時に開催期日・内容等がわかる資料や参加者名簿を添付すること

(2) 推薦対象者は、実技を含む全ての講習に参加できる心身ともに健康状態である者とする。

(3) 推薦対象者は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の保有者が望ましい。

(4) 都道府県スポーツ少年団が推薦する者のうち最低1名は、令和3年度スポーツ少年団登録者が望ましい。

(5) 複数名を推薦する場合は、男女共同参画の観点から、1名以上の女性を含むことが望ましい。

(6) 幼児・子どもの教育や保育、発達等に関する領域を専門とする大学教員についても推薦を認める。なお、上記に定める講習会を受講していることが望ましい。

※受講申込時に所属(学校名)、専門領域が確認できる書類(大学HPの教員ページ等)を添付すること。

8. 内容：

(1) 理論編（講義）

(2) 実技編（運動遊び、指導法・指導技術）

(3) 指導実践編（模擬指導）

(4) その他・質疑応答

※ 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ「アクティブ・チャイルド・プログラム総合サイト」の活用法等を含む

9. 参加料： 5,500 円（税込） ※交通費・宿泊費は参加者負担

10. 受講申込：

(1) 受講希望者は居住あるいは活動している都道府県スポーツ少年団または都道府県体育・スポーツ協会へ連絡し、それぞれ指定の申込手続きを行ってください。

(2) 推薦団体は、**10月27日（水）**までに受講申込書（様式別添）を取りまとめ、参加者推薦書（様式別添）により推薦順位を記入の上日本スポーツ少年団へ推薦してください。

※ 参加申込にあたって収集した個人情報参加可否（内定・決定）の通知・関連資料の送付を目的に使用します。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本スポーツ協会のホームページや各種報告書および東京2020組織委員会への報告等において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合を除く）。

11. 選考（内定）：

(1) 日本スポーツ少年団にて、受講申込書を元に選考し、推薦条件を満たしている者を以下の方法により受講内定者とします。

① 各都道府県スポーツ少年団からの推薦は原則 3 名とし、各都道府県スポーツ少年団の推薦順位 3 位以内の者を受講内定者とします。

② 各都道府県体育・スポーツ協会からの推薦は原則 1 名とし、各都道府県体育・スポーツ協会の推薦順位 1 位の者を受講内定者とします。

③ 各都道府県スポーツ少年団における推薦順位 4 位以下の者については、受講可能人数内で受講を認めます。推薦順位ごとに、令和元年度スポーツ少年団登録団員数の多い都道府県の推薦者から受講内定者とします。

④ 各都道府県体育・スポーツ協会における推薦順位 2 位以下の者については、受講可能人数内で受講を認めます。推薦順位ごとに、令和元年度スポーツ少年団登録団員数の多い都道府県の推薦者から受講内定者とします。

⑤ 日本スポーツ少年団からの推薦者については、受講可能人数内で受講を認めます。

⑥ 受講内定者の辞退が出た場合、推薦条件を満たしているものの受講可能人数等により内定されなかった受講希望者の中から、上記方法に基づき追加で受講内定者とします。

(2) 受講の内定と併せて、以下の方法により受講会場を調整します。

① 各都道府県スポーツ少年団推薦順位 1 位の者は、第 1 希望会場を受講会場として決定します。推薦順位 2 位および 3 位の者は、推薦順位ごとに令和 2 年度スポーツ少年団登録団員数の多い都道府県の推薦者から、受講希望順位が上位の会場で受入可能人数に達していない会場を受講会場として決定します。

② 都道府県体育・スポーツ協会推薦順位 1 位の者は、令和 2 年度スポーツ少年団登録団員数の多い都道府県の推薦者から、受講希望順位が上位の会場で受入可能人数に達していない会場を受講会場として決定します。

③ 各都道府県スポーツ少年団における推薦順位 4 位以下の者および各都道府県体育・スポーツ協会における推薦順位 2 位以下の者については、②と同様の方法により受講会場を決定します。

(3) 各会場で定員に満たない場合には、随時追加での参加申込を受付、内定手続きを行います。

12. 選考結果通知・参加料の入金（決定）：

(1) 選考結果については、日本スポーツ少年団から推薦団体に対して通知します。

(2) 推薦団体は、選考結果を受講希望者へ通知するとともに、受講内定者の参加料を取りまとめ、**11月17日（水）**までに日本スポーツ少年団指定の口座へ入金してください。

※ 入金口座は参加決定通知に記載してご連絡いたします

(3) 参加料の入金確認をもって、参加者として決定します。

※ 参加料納入後に受講を辞退・欠席した場合でも原則として参加料は返金しません。

13. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関する注意事項：

- (1) 当研修会は、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき開催いたします。<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline3.pdf>
- (2) 熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合等は受講をお控え下さい。
- (3) マスクを持参してください。研修会中は、原則マスクを着用して下さい。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行って下さい。
- (5) 万が一、研修会終了後 2 週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当講習会を集合形式で実施できる状況にない場合は中止といたします。その場合にのみ、参加料を返金することといたします。なお、開催可否について、開催日の 7 日前までに、申込時に登録されたメールアドレスへご連絡いたします。

14. その他：

- (1) 本講習会受講時に、「JSPO-ACP アクティブ チャイルド プログラム (ガイドブック)」とその他関係資料を当日配付します。
- (2) 本講習会修了者には、受講証を発行します。
- (3) 受講前・受講後アンケートへの回答は任意です。調査結果は学会発表や論文など学術的な目的に使用することがありますが、調査結果は統計的に処理しますので回答者が特定されることはありません。また、調査への協力や回答内容が回答者の評価に影響することは一切ありません。
- (4) 本講習会修了者には公益財団法人日本スポーツ協会（日本スポーツ少年団）や推薦都道府県等が実施するアクティブ チャイルド プログラム普及活動への協力を依頼することがあります。
- (5) 参加者を被保険者として傷害保険に加入します。
- (6) 実技を行いますので、以下を忘れずにお持ちください。
 - ・ トレーニングウェア（運動できる服装）／スポーツ活動用シューズ（室内用）／健康保険証（原本）
- (7) ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- (8) 地震・台風・火災などの天災、感染症、テロ、第三者からの指示・命令、その他不可抗力によりにより開催を中止する場合は、申込時に登録されたメールアドレスに連絡する他、公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ等によりその旨を掲載します。
- (9) 本講習会の参加により、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。なお、テニス資格は 2 ポイント、バウンドテニス資格は 1 ポイント、チアリーディング（コーチ 3 のみ）資格は都道府県体育・スポーツ協会実施の 1 回分の実績となりますが、別途、資格毎に定められたポイント獲得や研修受講などの要件を満たす必要があります。ただし、次の資格については、更新研修を修了したことにはなりません。（2021 年 4 月 1 日現在）※詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。
水泳、サッカー、スノーボード、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビクス（コーチ 4 のみ）、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー
- (10) 本講習会を修了し、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の「ジュニアスポーツ指導員」を受講する場合、カリキュラムの一部の受講を免除することができます。詳細は下記問合せ先までご連絡ください。

<問合せ先>公益財団法人日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部 少年団課

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL : 03-6910-5814 FAX : 03-6910-5820 E-mail : jjsa@japan-sports.or.jp



スポーツくら



令和3年度幼児期からのアクティブ チャイルド プログラム講師講習会

【基本日程表】

1日目 (6時間※休憩含む)			2日目 (3時間30分※休憩含む)		
			9:00～12:10 (3時間10分) ※適宜休憩含む	指導実践編 (模擬指導) 各班が残りの3班を対象に模擬指導する。 ●アイスブレイク ●ボール・ロープ ●新聞・模倣 ●鬼遊び	体育館 (アリーナ)
12:00～12:30	受付	調整中			
12:30～12:40	オリエンテーション				
12:40～15:10 (2時間30分) ※適宜休憩含む	理論編 (講義)		12:10～12:30 (20分)	評価会 終了	
			指導実践編 (詳細)		
				会場1	会場2
				A～D班	E～H班
			時間	指導する遊び	指導する遊び
			9:00-9:20	準備・打合せ・リハーサル等	
			9:20-9:55	アイス	アイス
			9:55-10:05	休憩・準備	
			10:05-10:40	ボール・ロープ	新聞・模倣
			10:40-10:50	休憩・準備	
			10:50-11:25	新聞・模倣	鬼
			11:25-11:35	休憩・準備	
			11:35-12:10	鬼	ボール・ロープ
			アイス：アイスブレイク ボール・ロープ：ボール遊び、ロープを使った遊び 新聞・模倣：新聞を使った遊び、模倣の遊び 鬼：鬼遊び		
15:10～15:20	休憩・着替え				
15:20～17:20 (2時間) ※適宜休憩含む	実技編 (運動遊び、指導法・指導技術)	体育館 (アリーナ)			
17:20～17:30	休憩				
17:30～18:30 (1時間)	グループワーク (指導実践打合せ等)				

<講師>

- ・ 窪 康之(国立スポーツ科学センター スポーツ科学部)
..... 理論編/実技編 (助手) /グループワーク/指導実践編/評価会
- ・ 佐藤 善人(東京学芸大学 教育学部) 実技編/グループワーク/指導実践編/評価会
- ・ 吉田 繁敬(アイ・プラス株式会社) 実技編/グループワーク/指導実践編/評価会